

# 予防医学

責任者・コーディネーター	衛生学公衆衛生学講座 坂田 清美 教授		
担当講座・学科（分野）	衛生学公衆衛生学講座		
担当教員	坂田 清美 教授、丹野 高三 特任教授、小野田 敏行 客員教授、田鎖 愛理 講師、坪田 恵 講師、西 信雄 非常勤講師、野原 勝 非常勤講師、柳川 洋 非常勤講師、笠置 文善 非常勤講師、立身 政信 非常勤講師、牟礼 佳苗 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数	講義 22コマ 33.0時間
期間	後期		演習 0コマ 0.0時間 実習 0コマ 0.0時間

## ・学習方針（講義概要等）

予防医学は医学的な知識や経験を国民の健康維持にどう応用するか、その方法論と具体的な社会制度を学ぶものである。疾病予防にとどまらず法律や行政の仕組み、医療費などの医療経済に関わる点まで含んで「健康」というキーワードで俯瞰する学問分野である。講義は演習を含み講義時間内に基本的な知識、技術の獲得を目指す。

## ・教育成果（アウトカム）

予防医学では健康状況の把握方法や、生活習慣や労働による疾病予防の方法論を学び、施策、行政との関連などを学ぶことにより、疾病予防の重要性について説明できる。また、「健康」の概念の理解とその予防方法について学ぶことにより、予防における医師の果たすべき役割を説明できる。さらに、将来医師として社会に関わる際の医療制度、保健活動の基本的な仕組みについても学ぶことにより、社会における予防の重要性について説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 1, 2, 3, 4, 7, 8 ）

## ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	予防の概念について説明できる。
2	地域保健の仕組みと保健所について概略を説明できる。
3	医療制度と医療保険制度について説明できる。
4	介護保険制度について説明できる。
5	母子保健制度の仕組みについて概略を説明できる。
6	感染症の予防と法制度について概略を説明できる。
7	わが国の主要死因の内訳と動向を説明できる。
8	栄養と健康の関わりについて説明できる。
9	循環器疾患の危険因子についてその概略を説明できる。
10	がんの危険因子について概略を説明できる。
11	飲酒・喫煙の生体影響とその予防法について説明できる。
12	生活習慣病の概念とその予防法について説明できる。
13	学校保健制度の仕組みについて概略を説明できる。
14	国際的な保健問題について概略を説明できる。
15	精神保健の仕組みを説明できる。
16	職域保健における疾病の管理予防について概略を説明できる。
17	障害者の医療と福祉について説明できる。
18	疫学がどのように健康政策に応用されているか具体例を用いて説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-C講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	9/24(木)	1	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	予防医学総論：健康の定義と概念、健康障害の発生要因、健康増進の概念、公衆衛生の定義、公衆衛生の歴史、地域保健の法体系について解説する。	1, 2, 3
講義	9/24(木)	2	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 特任教授	主要疾患とその動向：悪性新生物、心疾患、脳血管疾患等の主要疾患の動向について解説する。	7
講義	9/25(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 特任教授	国際保健：世界の保健問題について多面的に解説する。	14
講義	10/2(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	医療関係法規と制度：法規の種類、医事・薬事・地域保健・医療・福祉に関する法規について説明する。	3
講義	10/9(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	西 信雄 非常勤講師	栄養と健康：栄養疫学、栄養化学について解説するとともに、日本人の栄養摂取状況と健康との関連について説明する。	8, 12, 18
講義	10/16(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	野原 勝 非常勤講師	感染症と関連法規：感染成立の条件、感染症法の体系、感染症発生動向調査、世界の感染症、新型インフルエンザ、結核、予防接種等について説明する。	6
講義	10/29(木)	1	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	障害者の医療と福祉、介護保険制度：社会保障の考え方、社会福祉の組織、障害者基本法、身体障害者福祉法、生活保護法、介護保険法について説明する。	3, 4, 17
講義	10/30(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 特任教授	母子保健制度と健やか親子21：母子保健統計、母子保健制度、健やか親子21、児童虐待等について概説する。	5
講義	11/6(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	精神保健福祉：精神保健福祉の法制度、精神保健福祉の現状と課題について概説する。	15, 17
講義	11/13(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	柳川 洋 非常勤講師	健康政策と疫学：疫学研究成果がどのように健康政策に活用されているか、過去の様々な事例を概説する。	1, 18
講義	11/27(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	産業医の職務と3管理：産業医の要件と職務、産業衛生の3管理である健康管理、作業環境管理、作業管理について説明する。	16
講義	12/4(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	循環器疾患の危険因子と予防：循環器疾患の危険因子、予防因子について解説する。	9, 16

講義	12/7(月)	4	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	物理的要因と化学的要因：騒音、振動、気圧変動などの物理的要因の健康影響と化学物質の生物学的濃縮、量・影響関係、量・反応関係、許容濃度、管理濃度、生物学的モニタリング、生体影響等について解説する。	16
講義	12/11(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	笠置 文善 非常勤講師	放射線の健康影響について：放射線の種類、人体への健康影響についてのエビデンスを解説する。	16
講義	12/14(月)	1	衛生学公衆衛生学講座	小野田 敏行 客員教授	産業保健制度と関連法規：産業保健の目的、労働衛生の歴史、労働衛生行政組織、労働基準法、労働者災害補償保険法、労働安全衛生法および労働災害について説明する。	16
講義	12/14(月)	2	衛生学公衆衛生学講座	坪田 恵 講師	食品保健1：食事摂取基準、食品の表示・種類と機能について説明する。	8
講義	12/15(火)	2	衛生学公衆衛生学講座	坪田 恵 講師	食品保健2：食中毒、飲酒と健康について説明する。	6, 8, 11
講義	12/18(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	喫煙と健康：ニコチンの薬理学的特徴、喫煙の健康影響、受動喫煙の健康影響、喫煙による経済損失、禁煙による健康の利益について説明する。	11, 12, 16
講義	12/21(月)	1	衛生学公衆衛生学講座	小野田 敏行 客員教授	発がん物質とじん肺：じん肺の発症機序、管理区分、健診項目、合併症、職業がんについて解説する。	10, 16
講義	12/21(月)	2	衛生学公衆衛生学講座	立身 政信 非常勤講師	産業疲労：労働によっておこる疲労の種類とその対策、疲労要因となる労働負担の諸要素等について解説する。	9, 16
講義	12/22(火)	1	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	学校保健：学校保健の目的、特性、保健教育、保健学習、保健管理、学校保健統計調査、学校感染症、学校給食、学校医の職務、学校保健計画について説明する。	13, 16
講義	12/22(火)	2	衛生学公衆衛生学講座	牟礼 佳苗 非常勤講師	がんの危険因子と予防：がんの危険因子、予防因子について説明する。	10, 11

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	公衆衛生マニュアル2020 38版	柳川洋ほか編	南山堂	2020
参考書	国民衛生の動向2020/2021 (「厚生」の指標臨時増刊号)	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2020

・成績評価方法

【総括評価】3年生の後期進級試験成績により評価する。100点満点で評価し、60点以上を合格とする。なお、講義出席日数が2/3未満の学生は試験を受験できない。  
【形成的評価】講義中に口頭試問や議論形式の評価を行い、学生にフィードバックする。授業参加態度についても評価する。

・特記事項・その他

予防医学総論	1回
医療関連法規と制度	1回
障害者の医療と福祉・介護保険	1回
母子保健	1回
感染症	1回
主要疾患の動向	1回
がんの危険因子と予防	1回
循環器疾患の危険因子と予防	1回
食品保健	1回
栄養と健康	1回
喫煙と健康	1回
飲酒と健康	1回
健康政策と疫学	1回
学校保健	1回
国際保健	1回
精神保健	1回
職域保健	6回

※「公衆衛生マニュアル 2020」は2020年春に刊行予定である。  
 ※「公衆衛生の動向2020/2021」は2020年夏に67巻9号が発刊される。

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書：公衆衛生マニュアル2020 38版 柳川洋ほか編 南山堂 2020、参考書：国民衛生の動向2020/2021版 厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2020
---

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコンー式PowerMACG5	1	講義資料作成
講義	19インチTFT液晶モニター Flex Scan L767	1	講義資料作成
講義	ノートパソコンPCGX505cp	1	講義時のプレゼンテーション
講義	パソコンー式 (dc5100SF/CT10DATETFT)	1	講義資料作成
講義	ノンホットモデルSATAベースユニット (ML110G3)	1	講義資料の共有
講義	ノートパソコンー式 (Dv9500/CT)	1	講義時のプレゼンテーション
講義	ノートパソコン (R632)	1	講義時のプレゼンテーション
講義	ノートパソコン (CF-LX3YEABR)	1	講義時のプレゼンテーション
講義	カラー複合機 (MP C4503 SPF)	1	講義資料作成
講義	デスクトップパソコン (Optiplex 3020)	2	講義資料作成
講義	レーザープリンター ー式 (IPS10 SP C830)	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン MacBook Air 13inch ー式 (Z0P0)	1	講義資料作成
講義	デスクトップパソコン ENVY700-270jp/CT (G1W55AV-AHBY)	1	講義資料作成
講義	プリンター IPS10 SPC830 ー式 (308993)	1	講義資料作成